

人から 飼い主の

褒めながら育て
健康管理も

犬は褒められることが大好きな動物です。そして、できるだけ人と接していたいという性格を持っていきます。また一方、人も動物と接することで精神的に落ち着き、血圧も安定するとい



愛犬・ジュスに目を細める小林さん（自宅で）

うことが、医学的にも実証されているそうです。

もちろん、人と犬との良い関係を保つには、犬の病気を予防し健康を維持することが重要です。狂犬病以外にも、フィラリアをはじめとする数々の病気があります。獣医師に相談するなど、適切な予防策を講じましょ



う。

登録し、毎年予防注射を受けている犬が十七歳になると、前橋地区狂犬病予防・動物愛護関係連絡協議会から「長寿犬」表彰を受けます。人間の年齢にすると、八十歳を超えるそうです。

命を大切に 心を忘れずに

長寿を全うする犬は幸せですが、飼い主の都合で育てられなくなり、捨てられてしまうかわいそうな犬もいます。野犬となって捕獲された犬は、処理施設へ送られるという悲しい運命をたどります。

どうしても飼えなくなったら

あなたはどう飼っていますか

犬を育てている人にインタビュー

朝日町一丁目に住む、愛犬家の小林恒夫さん（77歳）に飼う方で注意している点などをお聞きしました。

飼つよつになつたきつかけとそこのころの様子を教えてください。

近所の人から子犬のときにもらい受け、一月で四歳になりました。オスで名前はジエス。洋画俳優の名前から付けました。初めのころはやんちゃで大変だつ

たから、犬の訓練士さんに家へ来てもらい、わたしも一緒にしつけを教えてもらいました。おかげで、今では言うことをだいたぶ理解できるようになったんですよ。

散歩はどのようになっていますか。

まず、近所を歩いて一回り。その後、わたしは自転車に乗って、ジエスを走らせませす。これを毎日、朝夕の二回やっている

決められた日に群馬大病院西構内アニマルプール前へ。前橋保健福祉事務所が有料で引き取ります。しかし、そうならないよう去勢・避妊手術を受けさせる方法も考えてはどうでしょうか。犬に限らず、ペットはおもちやではありません。動物を飼っている人も、これから飼いたいと思っている人も、命を大切にすることを忘れずにいてほしいものです。

また、動物嫌いの人もいるのですから、飼い方には十分注意しなくてはなりません。人間社会の中でペットと仲良く暮らしていくためには、飼い主の責任が求められているのです。

ので、わたし自身の健康維持にも良い習慣になっていきますね。ポリ袋を用意し、ふんは必ず持ち帰ります。砂をかけたリ、土にちよつと穴を掘って埋める人もいるようですが、それでは片付けたことになりませんよ。

健康面で気を付けていることは何でしょうか。

すぐ近くに動物病院があるので、気軽に獣医師さんに相談できます。人の迷惑になつてはいけなと思ひ、去勢手術もしました。いろいろな病気に對して、注射をしてもらつたり、薬を飲ませたりして予防に努めていきます。